

## お申込み

当財団ウェブサイトの専用フォームからお申込みください。  
メールにて参加証をお送りいたします。

締 切

**2026年1月19日（月）** 定員に達し次第締切りとさせていただきます。



## アーカイブ配信

セミナー終了後、期間限定でアーカイブ配信をご覧いただけます。  
会場参加が難しい方も、期間内であればご都合に合わせて視聴することができますので、ぜひお申込みください。

配信期間

**2026年2月下旬～3月末を予定**

締 切

**2026年3月9日（月）**

※2026年2月下旬に動画視聴用 URL や詳細をお送りいたします。  
※配信期間以外は、アクセスしてもご覧いただくことができません。  
※会場参加の方も、セミナー終了後に動画視聴用 URL をお送りいたしますのでご視聴いただけます。



# 「論語とそろばん」

セミナー  
2026

## お問合せ先

お問合せはメールにて承ります。ご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいませようお願いいたします。  
公益財団法人 渋沢栄一記念財団「論語とそろばん」セミナー係  
ウェブサイト……<https://www.shibusawa.or.jp/>  
メール………[rongo2026@shibusawa.or.jp](mailto:rongo2026@shibusawa.or.jp)  
対応日………火～土、10：00～17：00 日、月、祝日休み、月曜日が祝祭日の場合、翌日はお休みになります。

## 注意事項

- お申込みから1週間たってもセミナー係から連絡がない場合は、お手数ですがお問合せ先までご連絡ください。
- セミナーでは、お申込み受付からセミナーに関わる情報（参加証、動画視聴用 URL 等）の送付まで、全てメールでご案内をしております。そのため、「論語とそろばん」セミナー係からメールをお送りした後、リターンメール（エラーメール）がなければ、申込者へメールが届いているものとみなさせていただきます。  
お手数ですが、迷惑メール等の設定をされている方は、あらかじめ受信許可の設定をした上でお申込みくださいますようお願いいたします。
- お申込みの際にご入力いただいた情報は本セミナーの運営目的に使用させていただくほか、今後のセミナー開催や当財団のサービス案内の配信のために使用させていただくことがあります。
- 当日会場にて動画・写真を撮影し、後日アーカイブ配信をいたします。また、財団ウェブサイト及び財団機関誌『青淵』に一部講演内容を掲載する予定です。予めご了承ください。
- セミナーの撮影、録画、録音やホームページ・ブログ・SNS 等のインターネット上へのアップロードはご遠慮ください。

# 「論語とそろばん」

セミナー  
2026

渋沢栄一（1840-1931）  
渋沢史料館所蔵

基調講演 1

渋沢栄一が駆け抜けた  
慈善・社会事業の時代と東京養育院

講師

山本 浩史 （新見公立大学健康科学部教授）

基調講演 2

日米の社会福祉と寄付文化の比較  
—— 渋沢栄一から現代へ

講師

渋沢 田鶴子 （公益財団法人渋沢栄一記念財団業務執行理事）

座談会

現代の渋沢栄一を訪ねて  
—— 若者支援の現場から

講師

今井 紀明 （認定NPO法人D×P理事長）  
荒井 佑介 （特定非営利活動法人サンカクシャ代表理事）

聞き手

守屋 淳 （作家・本セミナー企画監修者）

日時

2026年1月27日（火）  
13：30～16：30

会場

東京商工会議所  
（5階 東商渋沢ホール）

参加費

（会場・アーカイブ配信共通価格）  
一般3,000円、会員2,000円  
（渋沢栄一記念財団、東京商工会議所）

申込み

財団ウェブサイト  
申込みフォームから  
お申込みください



定員

100名

締切

2026年1月19日（月）  
※後日アーカイブ配信を実施いたします。  
詳しくは裏面をご覧ください。

主催：



公益財団法人 渋沢栄一記念財団



東京商工会議所

協賛：

MIZUHO

みずほリサーチ&テクノロジーズ

企画監修：守屋淳





西洋の経済・社会諸制度を日本へ導入し

近代日本経済の基盤を築いた渋沢栄一（1840-1931）は、  
論語を行動の指針としていました。

本セミナーでは「論語とそろばん」に象徴される

渋沢栄一の思想と行動について理解を深めるとともに、

現代の日本社会、企業経営、リーダーシップのありかたなどについて、

参加者の皆様と共に考えます。

今回は「渋沢栄一と社会福祉——渋沢の養育院、日米の社会福祉から現代の若者支援まで」

をテーマに開催いたします。



## プログラム PROGRAM

司会：桑原 功一（渋沢史料館館長）

開会の言葉・趣旨説明 …… 13：30～13：40

井上 潤（公益財団法人渋沢栄一記念財団業務執行理事）

基調講演1 …… 13：40～14：30

渋沢栄一が駆け抜けた慈善・社会事業の時代と東京養育院

山本 浩史（新見公立大学健康科学部教授）

基調講演2 …… 14：30～15：20

日米の社会福祉と寄付文化の比較 —— 渋沢栄一から現代へ

渋沢 田鶴子（公益財団法人渋沢栄一記念財団業務執行理事）

休憩 …… 15：20～15：30

座談会 …… 15：30～16：25

現代の渋沢栄一を訪ねて —— 若者支援の現場から

講 師

今井 紀明（認定 NPO 法人 D×P 理事長）

荒井 佑介（特定非営利活動法人サンカクシャ代表理事）

聞き手

守屋 淳（作家・本セミナー企画監修者）

閉会の言葉 …… 16：25～16：30

樺山 紘一（公益財団法人渋沢栄一記念財団理事長）

企画監修・インタビュー聞き手

守屋 淳

（もりや あつし 作家・本セミナー企画監修者）

作家として『孫子』『論語』『韓非子』『老子』『莊子』などの中国古典や、渋沢栄一などの近代の実業家についての著作を刊行するかたわら、グロービス経営大学院アルumnナイス쿨において教鞭をとる。著訳書に70万部（紙＋電子）の『現代語訳 論語と算盤』（ちくま新書）や『現代語訳 渋沢栄一自伝』（平凡社）など。2018年4～9月トロント大学倫理研究センター客員研究員。

講 師

山本 浩史

（新見公立大学健康科学部地域福祉学科教授、博士（文化科学）、博士（社会福祉学）、社会福祉士）

岡山大学大学院文化科学研究科博士後期課程、大阪府立大学大学院人間システム研究科博士後期課程修了。川崎医療福祉大学、岡山県立大学等での勤務を経て現職。  
・共著『官民を超えた渋沢栄一の福祉実践』（ミネルヴァ書房）  
・単著『民生委員制度の原点 岡山県済世顧問制度の通史的論考』（大空社出版）など

渋沢 田鶴子

（公益財団法人渋沢栄一記念財団業務執行理事、博士（社会福祉学））

カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）にて社会福祉学の修士号および博士号を取得。コロンビア大学大学院社会福祉学部（1997～2006年）、ニューヨーク大学大学院社会福祉学部（2006～2019年）で准教授を務める。専門分野は臨床ソーシャルワーク、家族療法、アジア系移民のメンタルヘルス、高齢者福祉。日本家族研究・家族療法学会名誉会員。コロンビア大学大学院 Workplace Center WE プログラムにてファカルティを務める。

今井 紀明

（認定 NPO 法人 D×P 理事長）

高校生のとき、医療支援活動のため渡航したイラクにて武装勢力に人質として拘束されたことで、帰国後大きなパッシングを受け、対人恐怖症になる。偶然、中退・不登校を経験した若者と出会い、親や先生から否定された経験を持つ彼らと自身のパッシングされた経験が重なり、2012年に NPO 法人 D×P を設立。経済困難、家庭事情などで孤立しやすい若者が頼れる先をつくるべく、LINE 相談「ユキサキチャット」と大阪ミナミの繁華街で「ユースセンター」を運営。ユース世代の声を聴いて伝えることを使命に、SNS などで発信を続けている。

荒井 佑介

（特定非営利活動法人サンカクシャ代表理事）

1989年、埼玉県出身。約13年前より、ホームレス支援や子どもの貧困問題に関わる。生活保護世帯を対象とする中学3年生の学習支援に長く関わっていたが、高校進学後に、中退、妊娠出産、進路就職で蹟く子を多く見たことから、NPO 法人サンカクシャを設立。15歳から25歳前後までの大人を頼れない若者の支援を行う。



会場のご案内

ACCESS

東京商工会議所 5階 東商渋沢ホール

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2（丸の内二重橋ビル）

最寄りの交通機関

地下鉄

東京メトロ千代田線「二重橋前（丸の内）」駅直結（B5出口）  
東京メトロ日比谷線・千代田線「日比谷」駅直結（B5出口）  
都営三田線「日比谷」駅直結（B5出口）

JR

JR「有楽町」駅 国際フォーラム口より徒歩5分

JR「東京」駅 丸の内南口より徒歩10分

※ビル直結の地下通路をご利用いただけます。